

「研修教材(案)を活用した研修会」結果(概要)と意見(概要)

- 第7回検討会までに作成した教材(案)を基に、栃木県宇都宮市、愛媛県松山市、福井県福井市、北海道函館市にて、研修会を開催した。
- 各会場の研修会実施後に受講者に対し、アンケートを実施し、その概要をとりまとめた。

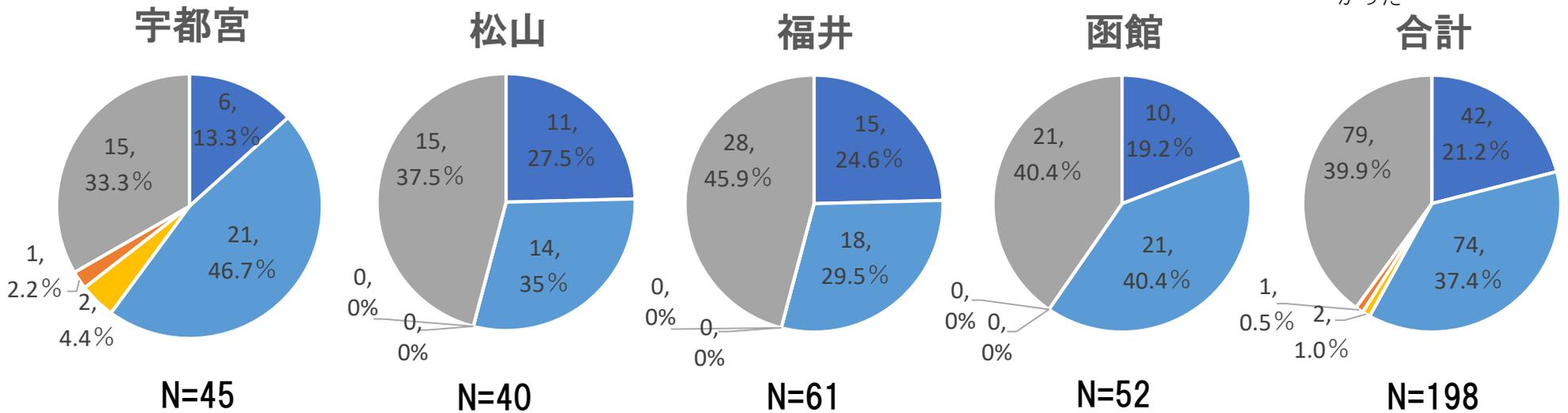
<研修教材(案)を活用した研修会の概要>

開催場所	栃木県宇都宮市	愛媛県松山市	福井県福井市	北海道函館市
会場	栃木県庁研修館	愛媛県水産会館	福井市防災センター	渡島総合振興局
開催日	令和2年1月21日	令和2年1月29日	令和2年2月2日	令和2年2月3日
研修名	自主防災組織のリーダー研修用教材に係る研修会	令和元年度第2回愛媛県自主防災組織・防災士連絡調整会	自主防災組織リーダー研修会	北海道地域防災マスターフォローアップ研修会
時間	14:00 - 16:00	13:15 - 16:00	13:15 - 16:00	14:00 - 16:00
対象	市町村職員 防災士会	自主防災組織リーダー 防災士連絡協議会	自主防災組織リーダー	地域防災マスター 北海道職員、市町村職員
教材テーマ	テーマ1 防災リーダーの役割	テーマ2 災害から住民の命を守るには	テーマ3 避難所の運営を円滑に進めるには	テーマ1 防災リーダーの役割
講師	一般財団法人 消防防災科学センター 黒田 洋司	NPO法人プラス・アーツ 小倉 文佳	人と防災未来センター 川田 慈人	防災教育アドバイザー 住友 静恵
人数	51名	64名	92名	67名
アンケート回答数	45件	40件	61件	52件

問1 研修教材は分かりやすかったですか

開催地名	アンケート回収合計数	①とても分かりやすかった	②分かりやすかった	③分かりにくかった	その他	無回答※
宇都宮	45	6	21	2	1	15
松山	40	11	14	0	0	15
福井	61	15	18	0	0	28
函館	52	10	21	0	0	21
合計	198	42	74	2	1	79

※アンケートは任意での回答のため無回答者が多かった



■ ①とても分かりやすかった ■ ②分かりやすかった ■ ③分かりにくかった ■ その他 ■ 無回答

問2 研修教材でよかったところ(分かりやすかった等)があればご記入ください。

整理番号	意見区分	数	主な意見の項目
1	教材の内容	87	自主防災活動 自主防災組織 自助、共助、公助の取組み 組織の作り方 団体との連携・協力 避難 防災リーダー 事例 実践的 プログラムの構成 マイ・タイムライン
2	ワークショップ	24	避難経路 地域ぐるみの支援体制 仲間を増やす
3	資料の見やすさ、分かりやすさ	19	チェックシート 映像の使用 災害発生前後にとるべき行動の図 文字が少ない わかりやすい
4	よかった、分かりやすかった等	11	分かりやすい、よかった
5	今後の活用	10	今後の参考として活用できる 地域に反映したい 動画リンクの明記
6	講師の説明	4	補足説明が参考になった
7	受講形式	1	班別方式がよかった

問3 研修教材で分かりにくかったところ(内容が専門的すぎる等)があればご記入ください。 問3-1

※()内の数字は意見の数を示す。

整理番号	意見区分	内容	意見に対する対応案
1	ワークショップの進行がわかりにくい (6)	—	<u>ワークショップの進行方法などをノートに記載し、丁寧な進行になるよう修正</u> する
2	教材のボリュームが多い (5)	—	本教材は、主として結成しはじめの段階の自主防災組織や結成から長期にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織を念頭に、習得すべき必要性、緊急性がより高い項目を網羅的に作成している。 <u>ボリュームが多い場合は適宜カスタマイズしてもらおう</u>
3	住民に理解してもらうには内容が難しい(12)	アンダーパス、内水の言葉の意味が分からない (1)	<u>用語の解説をノートに記載する</u>
		要配慮者と要支援者の違いがわかりにくい (1)	<u>要配慮者と避難行動要支援者のスライドを修正する</u>
		情報収集・伝達の流れの収集担当、伝達担当の役割がわかりにくい (1)	<u>担当の役割が明確になるよう修正する</u>
		避難スイッチの活用方法がわかりにくい (1)	<u>ノートに補足説明と取組のHPを記載する</u>
		マイ・タイムラインの活用方法がわかりにくい (1)	同上
		防災・気象情報や警戒レベルは住民に理解してもらうのが難しい (3)	ノートに補足説明等を記載しているので、 <u>必要に応じて丁寧に説明してもらおう</u>
		災害種別により避難先が異なることを覚えてもらうのが難しい (2)	同上
全体的にわかりにくい (2)	同上		

問3 研修教材で分かりにくかったところ(内容が専門的すぎる等)があればご記入ください。 **問3-2**

※()内の数字は意見の数です。

整理番号	意見区分	内容	意見に対する対応案
4	内容が物足りない (2)	—	本教材は、主として結成しはじめの段階の自主防災組織や結成から長期にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織を念頭に、習得すべき必要性、緊急性がより高い項目を網羅的に作成している。研修参加者がベテランなどで、 <u>内容が物足りない場合は適宜カスタマイズしてもらう</u>
5	活動事例の詳細な情報が欲しい	防災リーダーの役割の活動事例が欲しい (1)	普段からのリーダーの活動が災害時に役立った <u>事例を追加する</u>
		具体的な人数、費用、期間等が欲しい (1)	<u>事例には出典等を記載し、具体的な情報を調べやすいようにしている</u>
6	1回の研修会で2時間～3時間の研修時間はとれない	—	長時間の研修時間がとれない場合は、テーマごとにプログラム例に示した内容を一度に行うのではなく、 <u>1單元ごと実施するなど適宜カスタマイズしてもらう。</u>

問4 あなたの市町で実施する場合、改善すべきと考える箇所があればご記入ください。

問5 そのほか、研修教材について御意見・ご要望がありましたら御記入ください。

※()内の数字は意見の数です。

整理番号	意見区分	内容	意見に対する対応案
1	単元ごとの研修時間が長い (11)	—	本教材は、主として結成しはじめの段階の自主防災組織や結成から長期にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織を念頭に、習得すべき必要性、緊急性がより高い項目を網羅的に作成している。 <u>単元ごとの研修時間は適宜カスタマイズしてもらおう</u>
2	教材のボリュームが多い（再掲） (10)	—	本教材は、主として結成しはじめの段階の自主防災組織や結成から長期にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織を念頭に、習得すべき必要性、緊急性がより高い項目を網羅的に作成している。 <u>ボリュームが多い場合は適宜カスタマイズしてもらおう</u>
3	1回の研修会で2時間～3時間の研修時間はとれない（再掲） (6)	—	長時間の研修時間が取れない場合は、テーマごとにプログラム例に示した内容を一度に行うのではなく、 <u>1単元ごと実施するなど適宜カスタマイズしてもらおう</u>

問4 あなたの市町で実施する場合、改善すべきと考える箇所があればご記入ください。

問5 そのほか、研修教材について御意見・ご要望がありましたら御記入ください。

※()内の数字は意見の数です。

整理番号	意見区分	内容	意見に対する対応案
4	研修内容の改善・充実について	自主防災組織の高齢化対策・町内会加入者増の施策等を追加する (2)	加入者を増やす取組の一つとして、子ども達を巻き込んだ訓練の <u>事例を追加する</u>
		仲間を増やすの内容を詳しく行う (2)	地域の人たちを活用した取組 <u>事例を追加する</u>
		自主防災組織を組織するまでの事例を追加する (1)	自主防災組織結成のきっかけ等を記載し、 <u>ノートに自主防災組織の手引を参照するように記載する</u>
		地域に合わせたカスタマイズ (3)	本教材は、主として結成しはじめの段階の自主防災組織や結成から長期にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織を念頭に、習得すべき必要性、緊急性がより高い項目を網羅的に作成している。 <u>研修内容を変更したい場合は適宜カスタマイズしてもらう</u>
		参加者に合わせたカスタマイズ (3)	
		研修課題は一つでよい (1)	
		何か一つの内容を重点的・集中的に教えてほしい (1)	
		災害種別ごとに研修を実施する (1)	
		非常用持出品チェックシートの内容を更新する (1)	
		自主防災組織ありきの内容に疑問 (1)	
		防災士の役割を追加する (1)	
		要支援者の対応とボランティアの対応は分けて研修を行う (1)	
防災の知識が低いように感じる (1)			

問4 あなたの市町で実施する場合、改善すべきと考える箇所があればご記入ください。

問5 そのほか、研修教材について御意見・ご要望がありましたら御記入ください。

※()内の数字は意見の数です。

整理番号	意見区分	内容	意見に対する対応案	
5	研修テーマ、研修対象者の充実・強化について	火災への対応 (1)	本教材は、主として結成しはじめの段階の自主防災組織や結成から長期にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織を念頭に、習得すべき必要性、緊急性がより高い項目を網羅的に作成している。 <u>研修テーマや研修対象の変更については適宜カスタマイズしてもらう</u>	
		気候変動<温暖化対策>についての対応 (1)		
		液状化現象への対応 (1)		
		自主防災組織の活動継続方法 (1)		
		ライフラインが途絶した場合の地域の情報伝達方法 (1)		
		活動する際の保険、安全管理、リスクマネジメント (1)		
		リーダー補佐向け (1)		
		外国人、小中学生向け (1)		
		すべての住民向け (1)		
		避難所運営の初動体制 (1)		<u>研修テーマ3で実施することとしている</u>
		要支援者への配慮 (1)		<u>研修テーマ3で実施することとしている</u>
		自助と地域での話し合いの重要性 (1)		<u>研修テーマ1で実施することとしている</u>

問4 あなたの市町で実施する場合、改善すべきと考える箇所があればご記入ください。

問5 そのほか、研修教材について御意見・ご要望がありましたら御記入ください。

※()内の数字は意見の数です。

整理番号	意見区分	内容	意見に対する対応案
6	講師用シナリオが必要 (4)	—	教材には講師用シナリオの <u>参考となるようなノートを記載する</u>
7	ワークショップの改善	時間をもう少し確保する (2)	ワークショップの時間については、適当な時間になるように見直しを行う。 <u>内容については、適宜カスタマイズしてもらう</u>
		過去の災害を追加 (1)	
		地元の内容に合致させる (1)	

○「研修教材(案)を活用した研修会」講師からのご意見

講師意見-1

管理番号	発言者	内容	意見に対する対応案	テーマ	単元	対応頁
1	黒田委員	グループ討論時の意見の中に、ワークショップについては住民相手に実施する前に、周りの人たちと練習（トライアル）をした方が良いというのがありました。やはり現場で効果的に実用してもらうためには、与えられた教材を自分のものにする機会も大切だと思いました。 <u>周りの何人かでグループを作り、練習し合う場を設けることもよい研修とするうえで効果的である旨を、教材の最初のスライドに入れると良いのではないかと考えます。</u>	<u>ご意見を踏まえ、全ての教材に追記する。</u> （教材全体の留意事項等をまとめたペーパーを作成）	全て	全て	1
2	福井市	<u>水色ベースの背景に白字は、投影すると非常に見づらい</u>	<u>見やすい配色（緑色背景に白字）に変更する</u>	全て	全て	全て
3	北海道	P9に「みなさんが住む地域」という記述が、生活圏内？職場？町内会レベル？町全体なの？と一部の受講者は混乱していたので、 <u>地域の規模レベル（●●町、●●地区）を具体例で出す、もしくは講師側で指定するなどもう少し地域を限定すると良い</u> と思いました。	<u>研修会の参加者に合わせて、講師に修正してもらうように記載する</u>	1	1	11
4	北海道	<u>ワークショップの時間</u> は、初めてハザードマップを見る方には適切な時間配分かもしれませんが、普段から防災活動をされているような受講生の場合は <u>時間があまる印象</u> でした。P10に【 <u>個人作業15分</u> 】というところは、 <u>10分ほどで終わっていました。作業時間は目安くらいにして講師側が臨機応変に変更できると良いか</u> と思いました。	<u>個人作業の部分を10分にし、話し合いの時間を15分にする。</u> なお、 <u>講師でカスタマイズ</u> することも可能である	1	1	12,13
5	北海道	<u>ワークショップで平常時と災害時での取り組みを付箋に書き出す際</u> 、一人につきどちらかの取組しか書いていない方が多かった。 <u>平常時は水色の付箋、災害時はピンク色の付箋など、色分けした方がビジュアル的にも理解しやすい</u> と思った。パワーポイントのイラストも、付箋の図のちらしの作成の上に「平常時」、炊き出しの上に「災害時」と書いてあった方が、ぱっと見で2パターン書くのだなとわかりやすいと思います。	<u>ご意見を踏まえ修正する</u>	1	2	22～25

○「研修教材(案)を活用した研修会」講師からのご意見

講師意見-2

管理番号	発言者	内容	意見に対する対応案	テーマ	単元	対応頁
6	北海道	この箇所のワークショップは時間がたりない印象でした。受講者の年齢層が高いと時間がよりかかるようです。特に、P22はまず模造紙を広げて、マジックで書いて、貼って・・・と作業が多く大変そうでした。模造紙を縦？横？どっちで使うの？から始まります。 <u>パワーポイントのスライドを増やして、もう少し丁寧に作業工程を説明した方がよさそう</u> です。模造紙に表を書くという作業も抜けています。	ワークショップの進行や必要な情報等、 <u>丁寧な進行になるよう修正する</u> 。なお、講師でカスタマイズすることも可能である	1	2	23～25
7	福井市	災害発生時にとるべき行動のスライドが <u>文字・漢字が多すぎて読みにくいのではないか。</u>	スライドを <u>風水害と地震で分けて作成する</u>	3	1	5
8	福井市	<u>この箇所で指定避難場所と指定避難所の違いを理解させる意図は何か。また、福祉避難所の説明が不足しているのではないか。</u>	<u>災害の際に避難した先で被害に遭う事例があったため、指定避難場所と指定避難所の違いを説明している。福祉避難所の説明は詳しく追加する</u>	3	1	7
9	福井市	災害時にとるべき行動のまとめにある「適切な行動をとる」が意図する「適切な行動」とは何か。避難行動や避難判断に対する言及がない。 <u>具体的に平時からどのような備えが必要なのか、どのような行動が求められるのかを伝えた方がよいのではないか。</u>	避難行動や避難判断についてはテーマ2で学習する内容としている	3	1	8
10	福井市	地域の防災組織が「避難所運営の中心的役割」と書いてあるが、 <u>なぜ市役所ではなく、地域の防災組織等が中心的役割を担うのかについて、説明した方がよいのではないか。</u>	<u>避難所運営に自主防災組織が必要（役所だけで対応できない）ことの説明を追記する</u>	3	1	10
11	福井市	<u>ワークショップの導入が受講者に何を考えてもらいたいのか伝わりにくいのではないか。</u>	<u>効果的なワークとなるよう修正する</u>	3	1	15～25

○「研修教材(案)を活用した研修会」講師からのご意見

講師意見-3

管理番号	発言者	内容	意見に対する対応案	テーマ	単元	対応頁
1 2	福井市	<u>ワークショップの避難者の健康状態の把握は、行政・保健師が担当する分野のため、問題とするには適切ではないのではないか。</u>	<u>名簿作成の重要性を認識してもらいやすいワークショップに修正する</u>	3	1	16～18
1 3	福井市	避難生活上のルールの設定について、 <u>心理ケア</u> のことに記述したのは良い着眼点だと思うが、 <u>ここに載せてしまうと全体としてのまとまりがなくなるのではないかと。</u>	人間関係づくり～の記述は <u>参考情報とわかるよう表現を修正</u> する	3	1	21
1 4	福井市	避難所生活上の課題の発生について「 <u>事前に課題への対応を考えておきましょう。地域の状況を踏まえて、必要な取り決めをしておきましょう。</u> 」とあるが、 <u>どのようにしたらよいか説明した方がよいのではないかと。</u>	<u>補足説明をノートに記載する</u>	3	1	22
1 5	福井市	要配慮者の対応について、漢字が多く、 <u>なぜ要配慮者対応が必要なのか伝わりにくいのではないかと。</u>	<u>要配慮者対応の必要性のスライドを追加し、分かりやすく伝える表現に修正</u> する。	3	2	5,6
1 6	福井市	<u>ボランティアについてNPO,NGOの言及がない。</u> 消防庁の自主防災組織の手引ーコミュニティと安心・安全なまちづくりーに良い図があるため、参考にはどうか。(P93)	<u>NPO等を含めた資料に修正する</u>	3	2	29